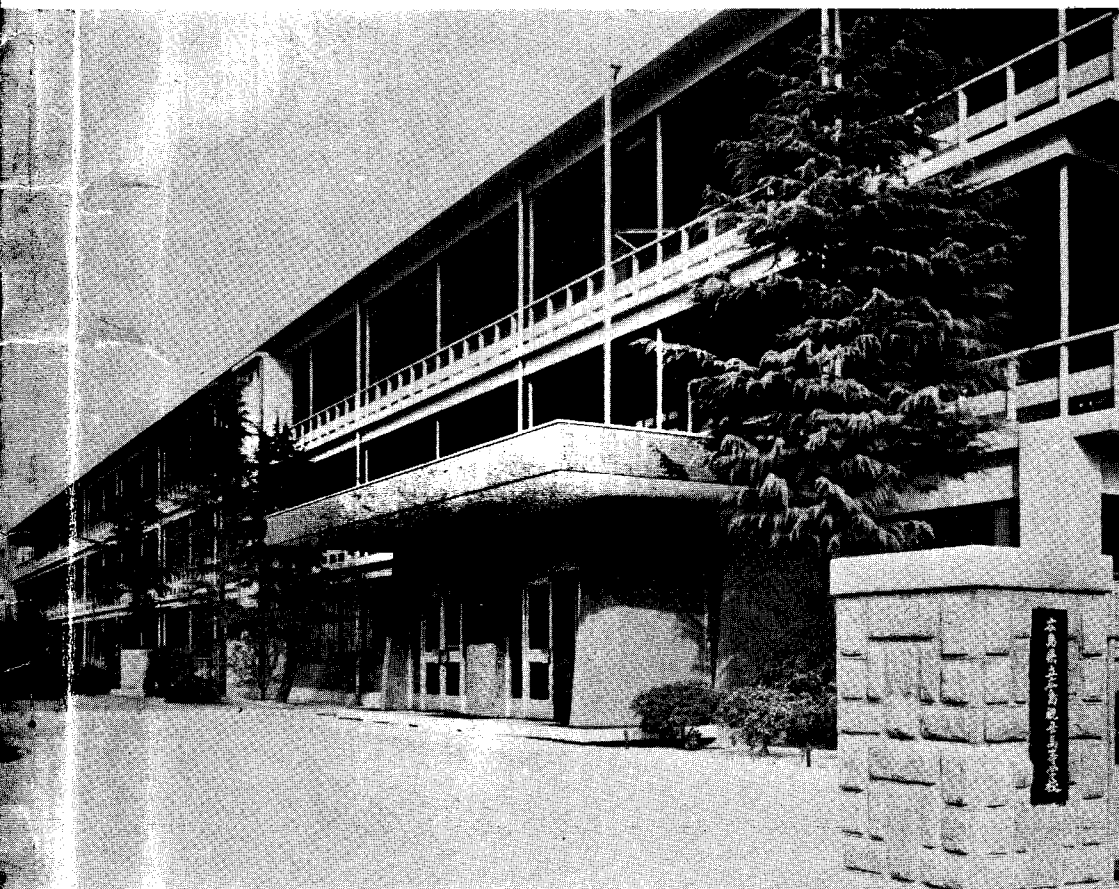
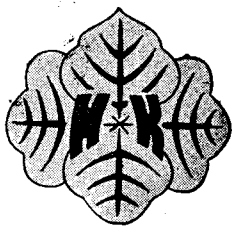


# 入学の葉



昭和48年度

広島県立広島観音高等学校

# 広島観音高等学校校歌

堂々と

小川二郎 作詞  
升田徳一 作曲

あ あ い つ く し ま も す そ ひ き  
 せ と の う ち う み か が や ー け ば  
 け ん じ つ の か ぜ ま ど に み ち  
 じ き ゅ う の ち か ー ら に わ に ー わ く あ お  
 き み ん か な ま な び や を。

- |   |        |                     |   |         |       |
|---|--------|---------------------|---|---------|-------|
| 一 | ああ厳島   | <sup>もすそ</sup> 裳裾ひき | 二 | 朝な夕なに   | 手をとりて |
|   | 瀬戸の内海  | 輝けば                 |   | 真理を究むる  | 若人の   |
|   | 堅実の風   | 窓にみち                |   | 個性を生かす  | 夾けきは  |
|   | 持久の力   | 庭にわく                |   | 伸びてめでたき | 若竹か   |
|   | 仰ぎみんかな | 学び舎た                |   | 風もすがしき  | 学び舎よ  |
| 三 | 七つの川の  | 水は澄み                | 四 | 夢を語れば   | 若人の   |
|   | 世界にしるき | 都かな                 |   | 胸は高鳴り   | 果て知らず |
|   | 慈愛の光   | 地にあふれ               |   | 馳ける大空   | 円かにて  |
|   | われら瞳みて | 喜びを                 |   | 降らす文化の  | うまし華  |
|   | とわに育てん | 学び舎に                |   | ともにたたえん | 学びの舎  |

## 目 次

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. 本校の教育方針……………1 | 8. 奨学金制度……………25     |
| 2. 本校の沿革概要……………1 | 9. 図書館案内……………28     |
| 3. 教室等配置図……………2  | 10. 視聴覚機器・教材……………29 |
| 4. 教育課程……………3    | 11. 保健衛生……………30     |
| 5. 高校での学習……………6  | 12. 売店案内……………31     |
| 6. 生徒心得……………21   | 13. 生徒会……………32      |
| 7. 教育相談……………24   | 14. 授業料等の納入……………34  |

# 1. 本校の教育方針

日本国憲法，教育基本法，学校教育法の精神に則り，次の事項に留意して，民主的社會に貢献する有為な人物の育成に努める。

1. 道義をたかめ，自主的な態度を養う。
2. 知性をひらき，合理的な精神を養う。
3. 情操をゆたかにし，明朗な品性を養う。
4. 生命をたつとび，壮健な身体を養う。

# 2. 本校の沿革概要

- 大正10年9月 広島県立広島第二中学校設立認可。
- 大正11年4月 広島県師範学校付属小学校内に開校。
- 大正12年4月 新校舎が観音町（現在の観音小学校の校地）に一部落成。
- 昭和20年8月 広島市に原爆が投下され，校舎倒壊全焼する。  
職員7名，生徒343名（呉空襲で2名爆死）合計352名が尊い犠牲となる。
- 昭和23年5月 学制改革により，広島県芸陽高等学校と改まる。
- 昭和24年4月 広島県広島観音高等学校設置認可。本校の課程を全日制課程（普通科，家庭科，商業科），定時制課程（普通科）とする。
- 昭和24年5月9日 開校式を挙る。
- 昭和25年3月 旧校地より現校地に一部移転。
- 昭和25年12月 校歌発表会，作詞広大教授小川二郎氏，作曲升田徳一氏（第2回卒業生）。
- 昭和29年9月 広島県広島商業高等学校の開設により，商業科第1学年転出。
- 昭和31年3月 商業科の課程を廃する。
- 昭和31年3月 広島市内公立五校の普通科入学者総合選抜制実施。
- 昭和43年10月 広島県立広島観音高等学校と校名を改める。
- 昭和47年10月 創立50周年記念式を挙る。

## 校章の由来

ポプラの四枚の葉の中にH・Kの文字が入っている。ポプラは観音高校のシンボルである。真直ぐにすくすく伸びるポプラは観音高校生の若さを象徴している。四枚の葉は，「知」「情」「意」「体」をあらわし，これは本校の教育方針にそのまま生かされている。

H・KはHiroshima Kannonのイニシアルである。



## 4. 教育課程

### 1. 本校の課程

全日制	普通科	修業年限	3年
定時制	普通科	修業年限	4年

### 2. 本校の教育課程

- ア 各課程の履修する教科科目別単位数は5ページの表の通りである。
- イ 各人の能力、適性、進路に応じて、定時制普通科は第4学年で科目を選択履修させ、全日制普通科は第3学年で文科技型、理科型の類型にわたる。
- ウ 全日制普通科は第2学年の5月中に類型選択の調査を実施する。
- エ 全日制普通科は第1学年で芸術（音楽、美術、書道）を選択履修させる。

### 3. 単位制について

高等学校には、全日制、定時制などの課程の別があり、また個人個人によって選択する教科科目に差異があるので、学習量を計る基準が必要である。この共通尺度が、いわゆる「単位」である。

1単位とは、ある科目を週に1時間（50分）の割で1年間（35週以上）学習することである。たとえば、「英語」の授業を1週間に6時間ずつ1年間学習すれば「英語」6単位を履修したことになる。

### 4. 単位認定について

欠課時数が出席すべき時数の $\frac{1}{3}$ を越えた科目がある時、および学年の評定（5段階）に「1」の科目がある時は、すべて審議し、単位を与えないことがある。  
この場合は原級留置となる。

### 5. 定時制課程について

#### 1) 定時制について

- 定時制は、「働きながら学ぶ生徒」のための課程である。
- 本校定時制課程の指導目標は、「学業と勤労の両立と調和」による「豊かな人間性の確立」にある。

#### 2) 授業について

- 本校の定時制は、全日制と併設されており、昼間（午前中）定時制で、午前8時30分より12時20分まで4時間授業を行ない、12時25分から10分間のS.H.R.を実施、また、毎週2時間のL.H.R.（A.B）を行なう。

#### 3) 生徒会・クラブ活動について

- 生徒会は、全日制生徒と定時制生徒が合同して、観音高等学校生徒会を組織しており、学校行事はもちろん、生徒会行事もできるだけ一緒に行なっている。定時制は

特殊な事情もあるので定時制独自の「定時制生徒連絡協議会」という組織をもって活動している。

- クラブもまた全日制生徒と定時制生徒の合同のものであるが、生徒会活動と同じように、定時制独自のクラブ活動を行なっている。(33ページ参照)

4) 職場について

- 学業と勤労を両立できる労働条件をそなえた職場を選択することが大切である。

5) 学費について

- 学費は学校納入金(授業料を含む)が月約1,500円で、その他の費用を合計して月2,000円位である。(ただし入学時は約10,000円が必要。)

年間  
3.5ヶ月

日 課 表

	月	火 ~ 金	土
職員 朝会	8.20 ~ 8.25	8.20 ~ 8.25	
朝礼	8.30 ~ 8.40		
第1限	8.45 ~ 9.35 (5分休憩)	8.30 ~ 9.20	同 左
第2限	9.40 ~ 10.30	9.30 ~ 10.20	
第3限	10.40 ~ 11.30	10.30 ~ 11.20	
第4限	11.40 ~ 12.30	11.30 ~ 12.20	
	(55分)	S. H. R. 12.25 ~ 12.35 (50分)	同 左 清掃 12.35 ~ 12.55
予鈴	13.20	13.20	
第5限	13.25 ~ 14.15	13.25 ~ 14.15	
第6限	14.25 ~ 15.15	14.25 ~ 15.15	
清掃	15.20 ~ 15.35	15.20 ~ 15.35	

年間行事計画

4月	6日	入学式	9月	1日	始業日
	7日	対面式		下旬	学園祭(文化祭・体育祭)
	中旬	健康診断		10月	下旬
5月	上旬	遠足	12月		上旬
	9日	開校記念日(球技大会)		24日	終業日
	下旬	1学期中間考査	1月	8日	始業日
未定	生徒大会	中旬		冬季鍛錬会	
7月	上旬	1学期期末考査	2月	中旬	校内マラソン大会
	20日	終業日	3月	1日	卒業式
	下旬	臨海教育		中旬	3学期期末考査
				20日	終業日

点と年余にわたる

昭和48年度入学者教育課程

課程・学科		全日制普通科										定時制普通科						
		乙 型										一 般 型						
		共通		文科型				理科型				1		2		3		4
年	1	2	3	計	計	3	計	計	1	2	3	4	計	計				
国語	現代国語	7	3	2	2	7				2	7			2	2	2	2	8
	古典Ⅰ乙	5	2	3		5				2	5			2	2	2		6
	古典Ⅰ	3			5	5				2	2							
社会	倫理社会	2		2		2				2					2			2
	政治・経済	2			2	2(1)			2	2						2	2	
	日本史	3			3	3(1)			3	3						3	3	
	世界史	3		2	2	4(1)			2	4					3		3	
	地理A	3			1	3(3)												
	地理B	3	3			3				3					3			3
数学	数学Ⅰ	6	6			6				6				3	3			6
	数学ⅠA	4																
	数学ⅠB	5		5		5				5					3	3		6
	数学Ⅱ	5			ア	3(2)			6	6								
理科	物理Ⅰ	3		3		3				3						3	3	
	化学Ⅰ	3		3		3				3					3		3	
	生物Ⅰ	3	3			3				3				3			3	
	地学Ⅰ	3	3			3				3					3		3	
	物理Ⅱ	3																
	化学Ⅱ	3			イ				3	3								
	生物Ⅱ	3			イ	3(3)			3	3								
	地学Ⅱ	3																
保健	体育	7~9	男4女2	男4女2	3	男11女7	男13女9	3	男11女7	男13女9	2	男4女2	2	2	男10女6	男12女10		
	保健	2	1	1		2			2		1	1			2			
芸術	音楽Ⅰ	2																
	美術Ⅰ	2		2		2				2							男6女4	
	書道Ⅰ	2									2				2			
	音楽Ⅱ	2																
	美術Ⅱ	2		2		2				2								
	書道Ⅱ	2																
	音楽Ⅲ	2																
	美術Ⅲ	2				ア	2(2)											
書道Ⅲ	2																	
外国語	英語A	9												4	3	3	3	13
	英語B	15	6	5	6	17			6	17								
家庭	家庭一般	4	女2	女2						4				女2	女2			4
	被服Ⅰ	2~6				ア	2(2)											4
	食物Ⅰ	2~6				イ	3(3)											4
商業	簿記会計	3~5				ア	2(2)											4
	計算実務	2~6				イ	3(3)											4
計		33	32	32		97		32		97	22	22	22	22				88